

ミライ

未来の 地球のために

みんなの力で地球を守ろう！



山並み連携ゼロカーボンシティ協議会
(毛呂山町、越生町、ときがわ町、東秩父村)

はじめに

わたしたちは、この地球上で水や空気、動物や植物など、豊かな自然の恵みを受けて生活してきました。しかし、時代が進むにつれて、わたしたち人間が選んで決めた行動が、少しずつ環境を変えていき、さらに時代が進んで、大きな影響を与えるようになりました。

この本をとおして、わたしたちと環境とのかかわりを見つめなおし、よりよい環境をつくっていくために、どのような行動がとれるかをみんなで考えてみましょう。

もくじ

地球温暖化ってなに？	1
地球温暖化によって、わたしたちの地球は、いま	2
このままだと日本にも影響が	3
社会の中で排出される二酸化炭素	4
家庭で排出される二酸化炭素	5
地球上の温室効果ガスを減らすために	6
ゼロカーボンってなに？	7
ゼロカーボンを達成するための5つのアクション／アクション1～5	
地球温暖化クイズ	12
山並み連携ゼロカーボンシティ協議会の取り組み	13
各町村の取り組み（毛呂山町／越生町／ときがわ町／東秩父村）	14
ポスターコンクール入賞作品	18

山並み連携ゼロカーボンシティ協議会について

わたしたちが生活している地球上の温室効果ガス削減のために、国や県、市町村の枠を超えた連携が必要となっています。そこで、わたしたちが暮らす美しい山並みが連なる毛呂山町、越生町、ときがわ町、東秩父村の3町1村では、令和4年12月25日に「山並み連携ゼロカーボンシティ協議会」を設置し、互いに手をつなぎ2050年までに二酸化炭素(CO₂)の排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ共同宣言」を表明しました。

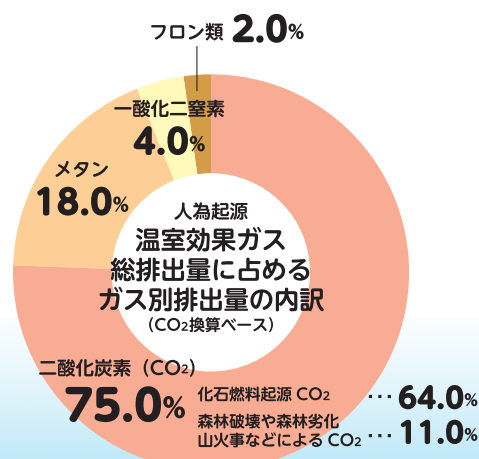
【地球温暖化ってなに？】

みなさんは「地球温暖化」という言葉を聞いたことがありますか。「地球温暖化」とは、地球全体の気温が上がり、あたたかくなっていくことをいいます。

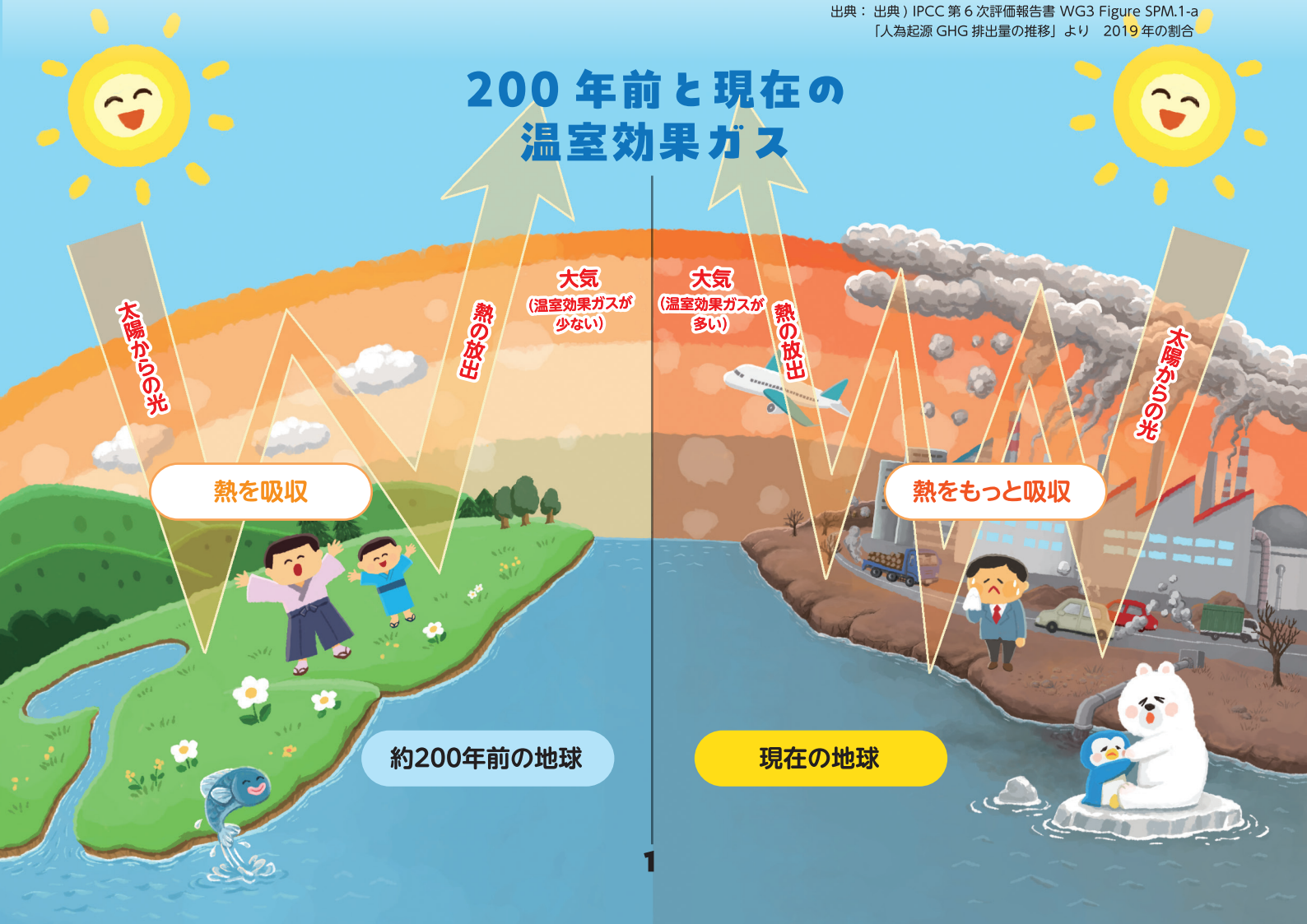
みなさんは、地球温暖化がどうして起こるのか知っていますか。わたしたちの住んでいる地球のまわりには、二酸化炭素(CO₂)などの「温室効果ガス」の層があります。地球は、太陽の光で温められていて、その熱が宇宙に逃げるのを「温室効果ガス」が防いで、私たちが暮らしやすい温度に保ってくれています。しかし、CO₂などが増えて「温室効果ガス」の量が多くなってしまうと、熱が宇宙へ逃げにくくなり、地球の温度がどんどん上がってしまうのです。これが地球温暖化が起こるしくみです。

温室効果ガスって？

温室効果ガスには、「二酸化炭素(CO₂)」や「メタン(CH₄)」といったいくつかの種類があります。そのなかで、地球温暖化の一番の原因といわれているのが、二酸化炭素(CO₂)です。自動車や飛行機を動かしたり、電気を作ったり、ゴミを燃やしたりすることなどで、たくさんのCO₂が発生しています。



出典：出典) IPCC 第6次評価報告書 WG3 Figure SPM.1-a
「人為起源 GHG 排出量の推移」より 2019年の割合



地球温暖化によって、わたしたちの地球は、いま…

地球温暖化はすでに起っています。2011～2020年の世界平均気温は、1850～1900年（産業革命前）の平均気温と比べて、およそ1.09℃上昇しています。（※1）また、日本の年平均気温は、100年前と比べ1.35℃、東京は3.4℃、大阪で2.6℃、名古屋で3.0℃（※2）上昇しています。そして北極では世界平均のおよそ2倍の速度で気温が上昇しています。

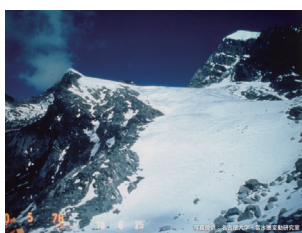
（※1）IPCC第6次評価報告書

（※2）気象庁「気候変動監視レポート2023」

いま地球ではこんなことが起ってる

気温の上昇によって、高い山の氷河や南極の氷が溶けています。また、海面が上昇し低い土地や小さな島が沈んでいます。

●氷河への影響



ヒマラヤの氷河（1978年）
写真提供：名古屋大学雪氷圏変動研究所



ヒマラヤの氷河（2008年）
写真提供：名古屋大学雪氷圏変動研究所

●生態系への影響



サンゴの白化
写真提供：阿嘉島臨海研究所

出典）全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト（<https://www.jccca.org/>）より

このまま温暖化が進むと…

対策を何もしないでこのまま温暖化が進むと、気温が上昇するだけでなく、地球全体の気候が大きく変化し、下記のようなさまざまな異変を引き起こします。

動植物の絶滅のおそれ

動物や植物は、自分たちにあった条件の場所でないと生きていけません。地球温暖化が進むと、そうした条件が変わってしまい、今まで住んでいたところに住めなくなってしまうのです。



低い島が海に沈んでしまう危険

海面水位が上昇すると、高潮の危険性が高まり、淡水に塩水が混じることや低地の島や海岸が海に沈んでしまうなど、人々の生活に大きな影響が出る恐れが予想されます。



農作物の収穫が減少（食糧難）

気候が乱れると、降雨不足で農作物が育ちにくくなる地域が出てきます。それが続くと、食べ物が不足する「食糧難」が生じる恐れがあります。



台風や大雨などの自然災害の増加

台風や大雨が増えることで、洪水やがけ崩れなどを引き起こし、人々に被害を与える恐れがあります。



このままだと日本にも影響が・・・

このまま温暖化が進むと、2100年の日本はどうなってしまうのでしょうか。下の表は、地球温暖化の原因となっている温室効果ガスがこのまま増え続けたときに起こる、日本への影響を予測したものです。

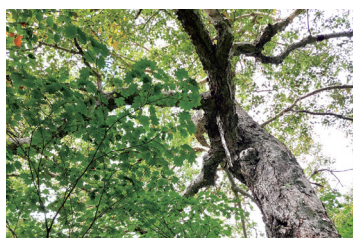
気温の大きな変化は、自然災害を引き起こし、生態系に大きな影響を与え、私たちの健康にも被害を及ぼしてしまうのです。

日本への影響は？

2100年末に予測される日本への影響予測

(温室効果ガス濃度上昇の最悪ケースRCP8.5、1981-2000年との比較)

気温	気温	3.5～6.4℃上昇
	降水量	9～16%増加
	海面	60～63cm上昇
災害	洪水	年被害額が3倍程度に拡大
	砂浜	83～85%消失
	干潟	12%消失
水資源	河川流量	1.1～1.2倍に増加
	水質	クロロフィルa※1の増加による水質悪化
生態系	ハイマツ※2	生育可能な地域の消失～現在の7%に減少
	ブナの木	生育可能な地域が現在の10～53%に減少
食糧	米	収量に大きな変化はないが、品質低下リスクが増大
	うんしゅうみかん※3	作付適地がなくなる
	タンカン	作付適地が国土の1%から13～34%に増加
健康	熱中症	死者、緊急搬送車数が2倍以上に増加
	ヒトスジシマカ	分布域が国土の約40%から75～96%に拡大



ブナ



ヒトスジシマカ

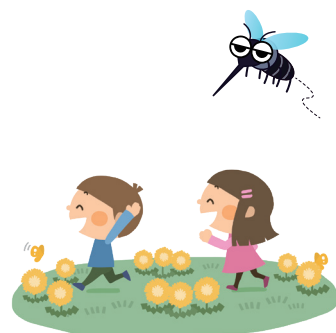
出典) 環境省 環境研究総合推進費 S-8 2014年報告書
全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト
http://jccca.org/chart06_003.html

- ※1 植物プランクトンに含まれる物質
- ※2 松の一種
- ※3 暖かい地域で栽培されるみかん類

ヒトスジシマカって？



ジカ熱やデング熱は蚊を介して感染します。原因となるウイルスは、感染した人の血を吸った蚊（ヒトスジシマカ）の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うときにウイルスを移し、感染を広げられます。ジカ熱やデング熱の運び屋ともいわれています。



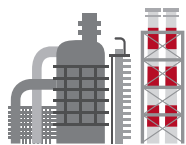
社会の中で排出される二酸化炭素

地球温暖化を引き起こす「温室効果ガス」の代表である二酸化炭素(CO₂)。CO₂はどのようなものから発生しているのでしょうか。私たちの社会のなかでCO₂が排出される場面を見ていきましょう。



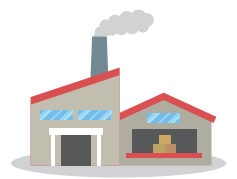
発電所

わたしたちの社会に欠かせない電力をつくっている発電所。石油や石炭、天然ガスなどの化石燃料を燃やして発電する火力発電は、多くのCO₂を排出しています。



工場

わたしたちの生活を支える工業製品をつくる工場では、機械を動かすために電力が使われます。また建設現場ではクレーン車を動かすためにガソリンが使われ、CO₂が排出されます。



企業

照明、パソコンやオフィス機器などに電力が使われています。また、原材料や商品の輸送のために車を使うことでガソリンが消費され、CO₂が排出されます。



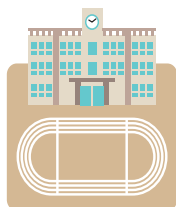
商業施設

大きなビルを明るくするための照明には大量の電力が使われています。また、広い施設の温度を調整するためのエアコンにも大量の電力が必要です。



学校

学校内にあるさまざまな電気製品や照明などに電力が使われています。またトイレやプールなどで使う水は、浄水場で電力を使ってきれいにされたものです。



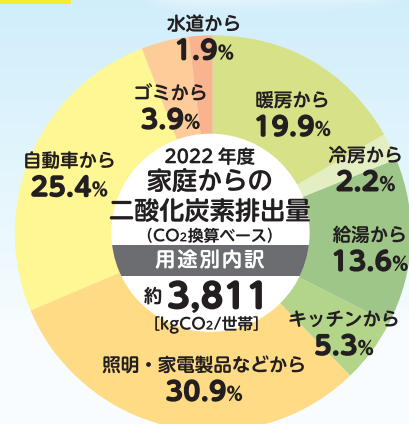
乗り物 飛行機、電車、船、トラック、自動車

わたしたち自身が移動したり、生活に必要なものを運ぶために、さまざまな乗り物が使われます。これらの乗り物は燃料を燃やして動力にするため、多くのCO₂を排出します。また電車の動力には電力が使われています。



家庭で排出される二酸化炭素

わたしたちのふだんの暮らしの中でも多くの二酸化炭素(CO₂)が排出されています。家庭でどのような場所からCO₂が発生しているのか、くわしく見てみましょう。

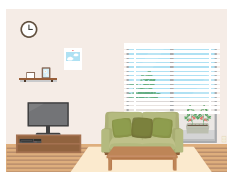


出典) 温室効果ガスインベントリオフィス



リビング

照明、テレビ、エアコンなど、さまざまな家電製品に電力が使われています。



キッチン

冷蔵庫、炊飯器、電気ポット、電子レンジなどの家電製品に電力が使われています。



水まわり

台所、お風呂やトイレ、洗面所で使われる水をきれいにするために、浄水場で電力が使われています。



自動車

自動車で移動すると、燃料が使われて、CO₂を排出します。



ゴミ焼却場

家庭から出たゴミを収集・運搬するための車に、ガソリンが使われています。また、ゴミ焼却場でゴミを燃やすときにもCO₂を排出します。



地球上の温室効果ガスを減らすために

このままでは温室効果ガスが増え続け、地球温暖化がさらに進んでしまいます。そこで、2015年に世界中の国々がフランスのパリに集まり、地球温暖化対策について話し合いました。その結果、国際的な約束事である「パリ協定」が取り決められました。「パリ協定」では、世界共通の長期目標として、産業革命以前に比べて世界の平均気温上昇を2℃よりも十分低く保つこと、さらに1.5℃に抑える努力をすることが約束されています。また、今世紀後半には温室効果ガスの排出量と吸収量のバランスを取る（＝ゼロカーボン）も目指しています。

この目標を実現するために、世界中の国々がさまざまな取り組みを進めています。

2019年12月2日～15日の間、COP25（気候変動枠組条約第25回締約国会議）がスペインのマドリードで開催されました。



会場の様子

各国の温室効果ガス削減目標

地球温暖化を止めるために、世界中の国が「ゼロカーボン」を目標に動いています。

国名	削減目標	今世紀中頃に 向けた目標	国名	削減目標	今世紀中頃に 向けた目標
 中国	2030年までに GDP当たりのCO ₂ 排出を 65%削減 （2005年比） ※CO₂排出量のピークを2030年より前にすることを目指す	2060年までに CO ₂ 排出を 実質ゼロにする	 日本	2030年度において 46%削減 （2013年比） ※さらに、50%の高みに向け、挑戦を続けていく	2050年までに 温室効果ガス排出を 実質ゼロにする
 EU	2030年までに 温室効果ガスの排出量を 55%以上削減 （1990年比）	2050年までに 温室効果ガス排出を 実質ゼロにする	 ロシア	2030年までに 30%削減 （1990年比）	2060年までに 実質ゼロにする
 インド	2030年までに GDP当たりのCO ₂ 排出を 45%削減	2070年までに CO ₂ 排出量を 実質ゼロにする	 アメリカ	2030年までに 温室効果ガスの排出量を 50-52%削減 （2005年比）	2050年までに 温室効果ガス排出を 実質ゼロにする

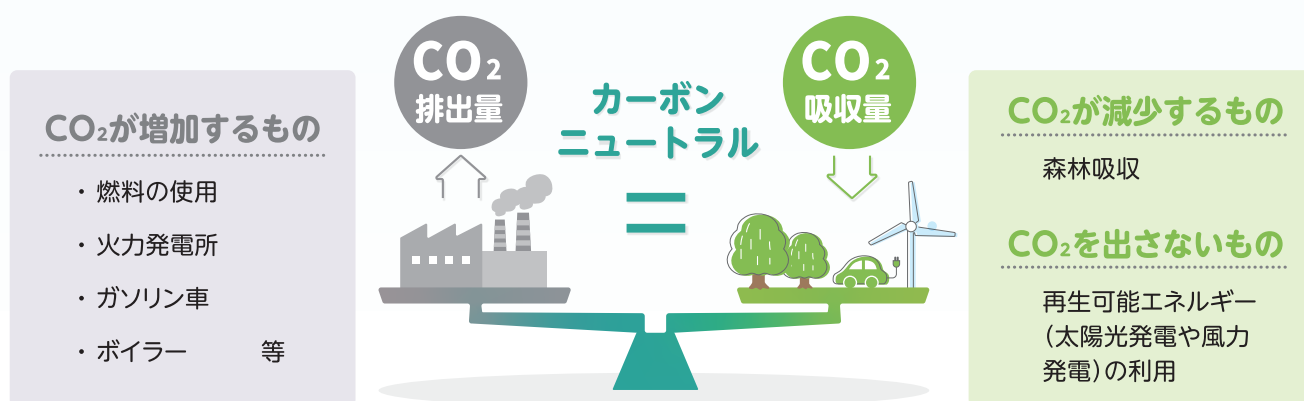
※GDP:国内総生産（一定期間内に国内で産み出された付加価値の総額）

各国のNDC提出・表明等、表現のまま掲載しています（2022年10月現在）
出典）全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト(<https://www.jccca.org/>)より

【ゼロカーボンってなに？】

地球温暖化を止めるために、世界中の国々が「ゼロカーボン」を目指して取り組んでいます。

ゼロカーボンとは、企業や家庭が排出する二酸化炭素(CO₂)をはじめとする温室効果ガス(カーボン)の「排出量」から、森林などによる「吸収量」を差し引いて、排出量の合計を実質ゼロにすることをいいます。ゼロカーボンを達成するためには、温室効果ガスの排出量をできるだけ減らすことが重要です。また、森林整備を行い、森林による温室効果ガスの吸収量を増やすことも必要です。



ゼロカーボンを達成するための5つのアクション

ゼロカーボンと私たちの生活は直接結びつかないのでは？と思う人もいるかもしれません。

しかし、実は日本のCO₂排出量の約60%が、私たちの生活から発生しているのです。したがって、ゼロカーボンの実現には、一人ひとりのライフスタイルを見直すことが重要です。

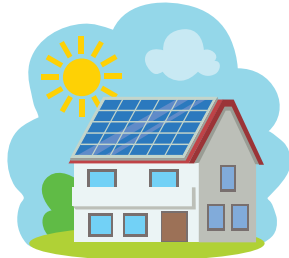
環境省は、「ゼロカーボンアクション30」として、わたしたちの暮らしに身近なアクションを提案しています。この読本では、そのうち特に5つの分野を取り上げて紹介します。

みなさんもできることから取り組んでみましょう。

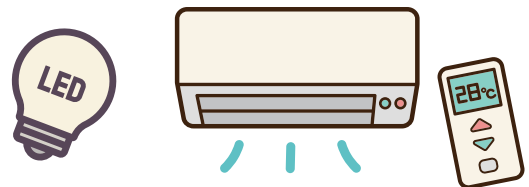
アクション1	エネルギーを節約・転換しよう！
アクション2	食品ロスをなくそう！
アクション3	4R でごみを減らそう！
アクション4	CO ₂ の少ない交通手段を選ぼう！
アクション5	環境保全活動に積極的に参加しよう！

地球温暖化の原因となっている二酸化炭素(CO₂)を減らすためには、太陽光発電などの地球にやさしいエネルギーを使うこと、一人ひとりが使うエネルギーを節約すること(節電・省エネ)、また、CO₂を吸収するためにみどりをたくさん増やしていくことが大切です。

- 1** 家庭や会社に、できるだけ太陽光発電システムをつける



- 2** 省エネ家電の導入



- 3** 自動車やバイクは二酸化炭素を出さない種類に切りかえていく



- 4** まちのみどりを守り、増やす活動を行っていく



わたしたちの身の回りでできること

- ☐ エアコンの温度を上げすぎたり、下げすぎたりしない
(室温は、夏は 28℃、冬は 20℃が目安)
- ☐ 冷房・暖房は、必要な時だけ使う
- ☐ 使っていない部屋の電気や見ていないテレビ・ゲームは消す
- ☐ 使っていない電化製品のプラグは抜く
- ☐ 手洗いやシャワーの水は、必要以上に出しっぱなしにしない
- ☐ お風呂は家族で間をあけずに入る
- ☐ トイレを使うときは、水を何回も流さない
- ☐ 冷蔵庫の中身をつめこみすぎず、とびらの開け閉めの回数を減らす
- ☐ 学校、まち、家のみどりを大切にする



Let's Try

電力を多く使う冷蔵庫の使い方を工夫してみよう！

- 季節により温度を調整する。
- 熱いものは冷ましてから入れる。
- 中身をつめこみすぎない。
- とびらを開ける回数を減らす。



日本の食品ロス量は、1人1日あたりおにぎり約1個分です。

食品ロスとは、本来食べられるのに捨てられてしまう食べ物のことです。大量の食品ロスにより、廃棄時に加えて、生産や物流時のCO₂排出が増えてしまいます。まずは、自分の食べられる量を買う、保存を工夫して食べられるものを捨てない、さらにはフードバンクに寄付するなどして、食品ロスを減らしましょう。

※フードバンク…あまっている食品を必要としている人につなぐ活動

食品ロスを減らそう！



わたしたちの身の回りでできること

- ☐ 食事を食べ残さない
- ☐ 食べ物を買うときや注文するときは、食べきれる量にする
- ☐ 食べ物は、賞味期限内に食べ、ムダに捨てない
- ☐ 旬の食材や地元の食材でつくった菜食を取り入れ、健康な食生活を送る



わたしたちのまわりにあるモノ。モノをつくる・売る・買う・捨てるまでの流れの中では、多くのエネルギーが使われています。モノを大切に使うこと、ゴミをなるべく出さないようにすること、モノをくり返し使うこと、ゴミを出すときのルールを守ること、資源やエネルギーを節約することができます。

1 リデュース (Reduce)

モノを大切に使い、ゴミを減らすこと

シャンプーやリンスなどがなくなったとき、中身だけ詰め替え、発生するゴミの量を減らしましょう。



2 リユース (Reuse)

一度使ったものをくり返し使うこと

着なくなった服をお店に売り、それがほかの誰かの手に渡って再び着用されればリユースとなります。



3 リサイクル (Recycle)

壊れて使えなくなってしまったものを、資源として再び利用すること

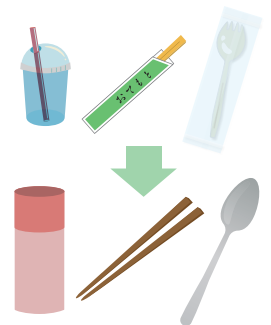
商品としての利用価値はなくても、資源として利用できる可能性があります。リサイクル回収などで、有効活用してみましょう。



4 リフューズ (Refuse)

不要なものを受け取らないようにする心がけること

お弁当を買ったときに割り箸やスプーンを受け取らずマイ箸を使い、ゴミを作らない工夫も大切です。



わたしたちの身の回りでできること

- ☐ 買い物へ行くときは、マイバッグを持っていき、レジ袋を使わない
- ☐ マイボトル（水とう）を持ち歩く
- ☐ シャンプーなどは詰め替え用品を使う
- ☐ 使えるものはくり返し使うなどして、モノを大切に使う
- ☐ ゴミは分別して捨て、資源になるものは資源回収に出す



自動車の二酸化炭素（CO₂）排出量は、家庭からのCO₂排出量の約25%を占めます。徒歩、自転車や公共交通機関など自動車以外の移動手段の選択や、エコドライブの実施、カーシェアリングを積極的に利用していきましょう。

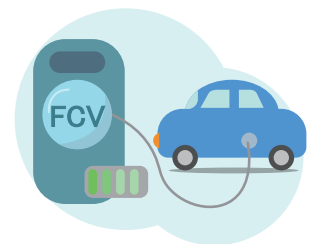
【スマートムーブ】

徒歩、自転車、公共交通機関など、CO₂排出量の少ないエコな移動手段を心がけること。
移動手段を見直すだけでも、地球温暖化対策につながります。



【ゼロカーボン・ドライブ】

太陽光や風力などの再生可能エネルギーを使って発電した電力（再エネ電力）を使用した、電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド車（PHEV）、燃料電池自動車（FCV）を活用した、走行時のCO₂排出量がゼロのドライブのことです。



わたしたちの身の回りでできること

- ☐ 移動手段は、なるべく徒歩、自転車、公共交通機関を利用しよう



地球温暖化は他人事ではなく、一人ひとりの行動の上に成り立っています。地域の環境活動などに参加してみましょう。

わたしたちの身の回りでできること

- ☐ 自然を守る活動（植樹やごみ拾い）に参加してみましょう
- ☐ 自然を守るために実行したことをまわりの人に伝えましょう



地球温暖化クイズ

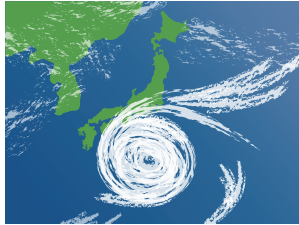
地球温暖化に関するクイズにチャレンジしてみよう!

クイズは全部で8問。チャレンジしながら温暖化問題について学ぼう!

q1

2021年の日本のCO2排出量は世界で何位?(197ヵ国中)

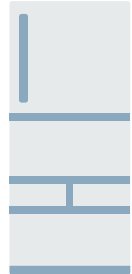
- ① 5位
- ② 32位
- ③ 107位



q2

冷凍庫内はどれくらい入ると省エネになる?

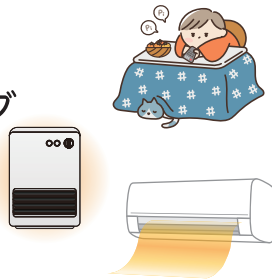
- ① ぎゅうぎゅう
- ② スカスカ
- ③ ゆったり



q3

次のうち、部屋全体をあたためるのに一番省エネな暖房器具はどれ?

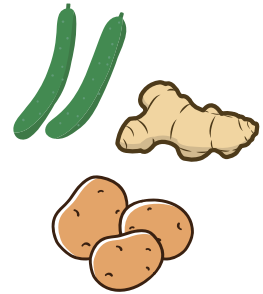
- ① こたつ
- ② 電気ストーブ
- ③ エアコン



q4

次のうち、体をあたためる食べものはどれ?

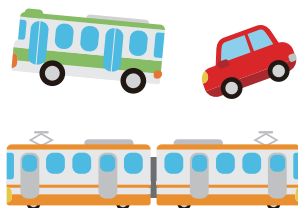
- ① きゅうり
- ② しょうが
- ③ じゃがいも



q5

1人が1km移動するときのCO2排出量が、最も少ない乗りものは?

- ① バス
- ② 自動車
- ③ 鉄道



q6

家庭からごみとして出される衣服が、再び活用される割合はどれくらい?

- ① 5%
- ② 10%
- ③ 30%



q7

宅配便が不在により荷物を持ち帰っている割合はどのくらいでしょうか?

- ① 約140%
- ② 約半分
- ③ 約20%



q8

電気自動車の保有台数は約10年前と比較してどのくらい増えた?

- ① 約10倍
- ② 約50倍
- ③ 約500倍以上



出典) 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト(<https://www.jccca.org/>)より

山並み連携ゼロカーボンシティ協議会の取り組み

ときがわ町 剣ヶ峰駐車場より
関東平野のすそ野に位置しており素晴らしい
山並みが連なっている。

地球温暖化を防ぐためには、市町村の枠を超えた連携が必要となってきます。そこで、美しい山並みが連なった毛呂山町、越生町、ときがわ町、東秩父村の3町1村で「山並み連携ゼロカーボンシティ協議会」を組織しました。この協議会では、令和4年12月25日、互いに手をつなぎ、2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す「山並み連携ゼロカーボンシティ共同宣言」を表明しました。



令和6年度の協議会活動

★環境ポスターコンクールの開催

山並み連携ゼロカーボンシティ協議会の構成町村である毛呂山町、越生町、ときがわ町、東秩父村の小学生を対象に、夏休み期間中の自由課題として、環境保全や環境問題をテーマにしたポスター作品を募集しました。その結果、4町村合わせて50点もの素晴らしい作品が寄せられました。

★環境読本の作成

次世代を担う小学生のみなさんに、地球温暖化について学んでもらうため、この電子書籍「未来の地球のために」を作成しました。

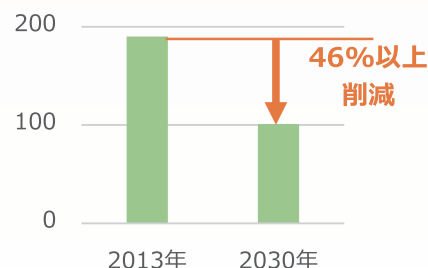
～毛呂山町の取り組み～



毛呂山町では、令和6年3月に、町全体で地球温暖化対策に取り組むための計画(毛呂山町地球温暖化対策実行計画(区域施策編))をつくりました。

どういう計画なの？

2050年までに、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出実質ゼロを目指す「山並み連携ゼロカーボンシティ共同宣言」を達成するために、中間目標として2030年までの目標を定めています。毛呂山町では、2013年と比べて、2030年までに二酸化炭素の排出を46%以上減らすことを目標にしています。



目標を達成するための取り組み

公共施設への太陽光パネル設置と照明LED化



太陽光パネルの設置

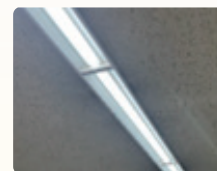
太陽光発電等の二酸化炭素の排出の少ないエネルギーを導入するために、学校給食センターに太陽光パネルを設置しました。



毛呂山町学校給食センターの太陽光パネル

照明のLED化

公共施設のような大きい建物の照明は多くの電力を使います。その照明を、より電力を使わないLED照明に変えることで省エネ化に取り組んでいます。



毛呂山町役場庁舎のLED照明

公用車の電気自動車(EV)の導入

自動車の中でもガソリン車は多くの二酸化炭素を排出します。公用車(役場などで使う自動車)の多くはガソリン車なので、ガソリンを使わない電気自動車(EV)に入れ替えていきます。



家庭用再生可能エネルギー設置補助金

各家庭で太陽光発電システムを導入するための支援をしています。住宅に家庭用の太陽光パネルや蓄電池を設置するときにかかるお金の一部を補助します。



詳しくはこちらへ
(毛呂山町ホームページ)

スマホの中の町役場とペーパーレスの推進

毛呂山町の公式LINEを利用して、自動車などで役場に来なくてもLINE上で様々な手続きができるようになりました。スマホの中で町役場と同様の手続きができ、紙の申請書を使わない、ペーパーレスでエコな取り組みです。



森を守るための啓発活動

毛呂山町、越生町、ときがわ町や東秩父村などの山々の森を守るために、たくさんの人に知ってもらい取り組みを実施しています。森を健康にするために切った木(間伐材)を使ったイベントや、パネル展などを開催しています。



間伐材を使ったハシづくり



～越生町の取り組み～



越生町では、生ごみを減らすため、自宅でも生ごみを分解できる、生ごみ処理容器『キエーロ』を販売したり、他にも環境問題を解決するために様々な補助金事業を行っています。

生ごみ処理容器『キエーロ』って何？

黒土の中に住むバクテリアが生ごみを分解してくれるものです。調理くずや食べ残したものの、古くなった牛乳、ジュース、てんぷら油なども処理できます。

くわしくは
こちらから



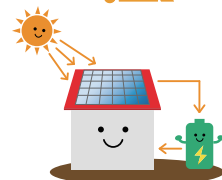
補助金事業って何？

再生可能エネルギー設備等設置費補助金

地球温暖化対策の推進を図るため、太陽光発電システム、家庭用燃料電池コージェネレーションシステム及び定置用リチウムイオン蓄電池を設置するときにかかる費用の一部を補助しています。

電気自動車普及促進補助金

走行時に二酸化炭素を排出しないことから、環境に優しい車とし注目されている電気自動車の購入費用の一部を補助しています。



様々なイベントにブースを設置して、缶バッジを配布したり、山並み団子を販売して、ゼロカーボンシティ協議会のPRをしています。



みんなも見たことある缶バッジや山並み団子、上谷の大クスで作ったコースターも協議会のPR活動として作っています。

コースター

埼玉巨樹番付で最高位の称号「横綱」に選ばれた上谷の大クスは、令和元年8月、地震により一部の枝が折れました。このコースターはその枝を製材して作られたものです。



コースター

山並み団子

山並み団子は、毛呂山町（ゆず風味）、越生町（うめ風味）、ときがわ町（山椒風味）、東秩父村（さくら風味）の順番で並び、この協議会の山並みをイメージして作っています。



イベント

地球温暖化についてみんなに知ってもらうために、地球温暖化対策のパネル展を開いたり、古着や生活用品、おもちゃを売るバザーを開催しました。来てくれた人たちがリサイクル品に触れることで、資源を再利用することの大切さを考えるきっかけを作りました。

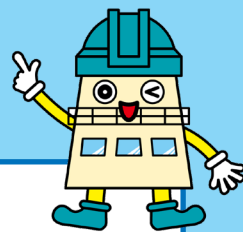


学問体験

災害協定を結んでいる越生町と東京電力パワーグリッド株式会社で協力し、イベント開催時に特設ブースを出展しました。このブースでは、電気の大切さや発電の難しさ、災害時における電気自動車の役割について解説したほか、電気に関する学問体験も実施しました。



～ときがわ町の取り組み～



ときがわ町は埼玉県のはぼ中央、比企郡の西部に位置しています。

町の中心を町名の由来である都幾川が西から東に流れ、町域の面積55.9km²の7割を占める森林ではスギやヒノキが優良な森林資源として育まれています。

カーボンニュートラルに向けた主な取り組み

「燃やす」から「発酵させる」可燃ごみへ

令和4年4月より、可燃ごみの処理方法が、焼却処理からメタン発酵処理となりました。この処理方法では、微生物（メタン菌）のチカラを活用し、可燃ごみを発酵させてメタンガスを発生させ、このガスを利用して電気を生み出しています。温室効果ガスの削減効果を期待でき、地球に優しい処理を行っています。



電気自動車用急速充電器の設置

脱炭素社会実現に向けた取り組みとして、電気自動車の普及促進を図るため、役場第二庁舎駐車場内に電気自動車用急速充電器を設置しました。



富士見市との森林整備に関する協定締結

令和6年8月8日(木)、森林の保全及び地球温暖化対策の推進と、森林を活用した交流事業等の実施を図ることを目的として、富士見市と森林整備に関する協定を締結しました。富士見市と共同で森林整備を実施し、二酸化炭素吸収量増加を図っていきます。



町の森林資源を積極的に利用して

地域産木材の利用を推進するため、小中学校の校舎をはじめとする公共施設の内装木質化に取り組んできました。「ときがわ方式」と呼ばれる校舎の長寿命化の手法は、ぬくもりと癒し効果を持つ木材により構内の雰囲気が落ち着くと同時に、急激な湿度の変化が抑制されるなど、学習環境や安全性の向上が実証されています。



都幾川中学校校舎（内装木質化）

資源物拠点回収イベントの実施

ごみ減量化啓発事業の一環として、令和6年度に金属類や小型家電を対象とした資源物拠点回収イベントを実施しました。不要となったものを資源とし、資源の有効活用や環境負荷の軽減に取り組んでいます。



EVバスの導入

脱炭素社会の実現に向けた取り組みの一環として、令和3年度に路線バスの5台の車両全てをEVバスに更新しました。



～東秩父村の取り組み～

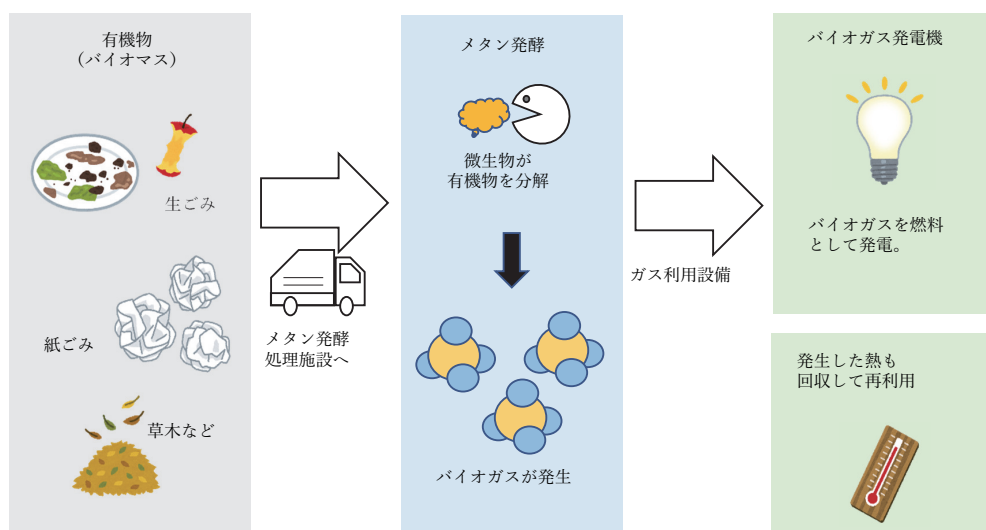


燃えるごみのメタン発酵処理

令和4年度より、燃えるごみはこれまでの焼却処理に替わりメタン発酵によってバイオガス化しています。

バイオガス化のしくみ

燃えるごみに含まれるバイオマス(生ごみ、紙ごみ、草木類など)を、微生物(メタン菌など)のチカラによって分解し、再生可能エネルギーであるバイオガス化することにより、電力と熱エネルギーを得ることができます。メタン発酵処理は、焼却処理に比べ二酸化炭素の排出量を抑えることができます。また、燃えるごみを原料として再利用することで資源を循環させることができます。



照明のLED化

公共施設や外灯に、LED照明を使用しています。LED照明の消費電力は、蛍光灯と比較すると約1/3、白熱灯と比較すると約1/8程度といわれています。また、蛍光灯は有害物質である水銀を含んでいるため、流出した時に健康被害が出るおそれがありますが、LEDには含まれていません。環境と健康にやさしい照明器具となっています。

(蛍光灯は2027年までに製造終了となります。)



太陽光発電の推進

新エネルギー推進のため、役場の屋上に太陽光パネルを設置している他、住宅に太陽光発電システムを設置する人に対しては補助金を支給しています。



役場に設置された太陽光パネル

高性能な給湯器の設置推進

環境への負担を減らすため、より効率的な給湯器を設置する人に補助金を支給しています。より少ないガス使用量でお湯をわかすエコジョーズや、空気中の熱をエネルギーに転換してお湯をわかすエコキュートなどが補助の対象です。効率が良くなる分、使うガスや電気の量が減り、二酸化炭素排出量の削減につながります。



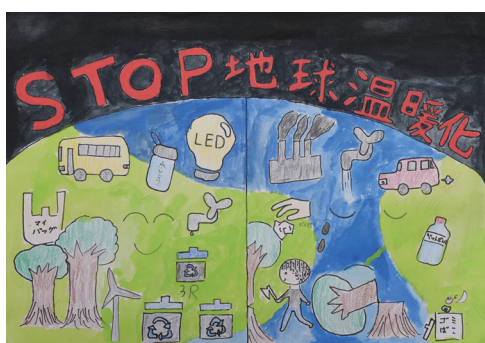
ポスターコンクール入賞作品

会長賞



「地球のために」
越生町立越生小学校 5年生

毛呂山町長賞



「STOP地球温暖化」
毛呂山町立川角小学校 6年生

越生町長賞



「地球は君の手に」
越生町立梅園小学校 5年生

ときがわ町長賞



「私にできる第一歩」
ときがわ町立明覚小学校 6年生

東秩父村長賞



「地球が熱でたおれてる」
東秩父村立槻川小学校 3年生

ポスターコンクール入賞作品

入賞



「地球も熱中症になっちゃうよ」
毛呂山町立毛呂山小学校 5年生

入賞



「地球のみんなをまもりたい」
越生町立越生小学校 1年生

入賞



「動物も、地球も泣いています」
ときがわ町立玉川小学校 3年生

入賞



「使わない部屋は電気を消そう!!」
毛呂山町立川角小学校 4年生

入賞



「海をまもる私たち」
東秩父村立槻川小学校 3年生